

学校適正規模に関する意見交換会 会議録要旨

日時：令和4年10月17日（月）

場所：大岡市民活動センター2階会議室

時間：10:05～11:30

対象：大岡小学校に通う児童の保護者

：大岡小学校に入学予定である未就学児童の保護者

参加者：11人

□意見交換会の目的

小学校第二地域(松二小・大岡小・市の川小)については、保護者や地域の皆様と十分な意見交換が行われていないことから、令和6年度とする方策実施年度を先送りすることとし、令和4年4月に開催した審議会の途中経過報告会において、保護者や地域の皆様に報告をさせていただきました。

今後、保護者や地域の皆様と意見交換を行い、審議会へ状況を報告したうえで、小学校第二地域の具体的な方策協議を行っていただくことを考えております。

推計可能な令和10年度までについて、大岡小学校は1学年1桁の児童数が継続して生じていくことが推計されます。

このことから、先ずは大岡小学校に通う児童の保護者や、未就学児童のいる保護者の方を対象に、意見交換会を設けさせていただきました。

児童数が減少している現状を踏まえ、「どのような学習環境で、子供に学校生活を送ってほしいと考えるか」について、皆様と意見交換を行うものです。

□意見交換の進め方

①小学校第二地域における児童数、学級数の現状や推移の説明(資料2)

②次に、市・教育委員会が考える望ましい学習環境についてお話しします。

その後、本日、お集りの皆さんで、3～4人のグループを形成していただき、「どのような学習環境で、子供に学校生活を送ってほしいと考えるか」をテーマに、話し合ってください。

3～4人の少人数のグループにした理由は、多くの皆様から発言していただく機会を設け、教育的な観点から(まちづくり、都市計画に関するものは除く)率直なご意見をいただきたいと考えたからです。

その後、グループ毎に、話し合った結果を発表していただき、それに対し、事務局と意見交換を交わしていきたいと思っております。

話し合いに際しては、各グループで発表者と書記を決めていただき、話し合いを始めていただくようお願いいたします。

□小学校第二地域における児童数、学級数の現状や推移の説明(資料2)

本市の学級編制は、「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」に基づき行っています。

小学校における通常学級の児童の数についてですが、令和4年度は1年生から3年生まで、1学級35人以下、4年生から6年生は1学級40人以下となっています。

これが、令和5年度からは、4年生まで、1学級35人以下となり、令和7年度以降は、全学年で1学級35人以下となります。

(なお、中学校における通常学級の生徒数は、同法に基づき、1学級40人以下となっています。)

「東松山市立小・中学校適正規模に関する基本的な方針」では、学校の適正な規模の基準として、小学校1校で12～18学級となっています。1学年が2学級(クラス)の学校では、12学級となります。

この12～18学級が適正な基準としたとき、この大岡地区を含む小学校第二地域では、松二小が、令和4年度は5年生が36人となり、11学級になります。

また、令和8年度、1年生でも、33人と単学級が発生しますが、あと3名、転入等で児童が増えれば、36人となり、2学級になります。その場合、各学年2学級となります。

大岡小については、昨年度から複式学級が始まっています。

複式学級とは、2つの学年をあわせ、16人以下の場合、編制されます。

令和4年度は、3・4年生が1クラスとなる複式学級であり、令和6年度まで継続していきます。

令和7年度には、5年生14人、6年生4人、合計18人となるため、複式学級が解消されます。6年生は4人で1クラス編制、1年生は7人で1クラス編制となります。

市の川小は、推計可能な令和10年度まで、どの学年においても複数の学級編制となります。

□教育委員会の考え方

学校における学習環境では、例えば、「学習を進めるためのシステム」や、「一緒に学ぶ友達との関係性」などがあげられます。施設や設備等、その他さまざまなことが考えられますが、今回はこの2点についてお話ができればと思います。

まず、学習を進めるためのシステムについてです。私たちが学習を進めるうえで、一人で学ぶことができることもあれば、集団でなければ学ぶことができないこともあります。

小学校段階では、集団でなければ学ぶことができない学習を数多く行います。これらは、各教科においてシステム化され、児童が身に着けやすいよう工夫されています。

例えば、体育のボール運動などのゲーム、音楽の合唱、国語や算数、学級会等の授業で、様々な人の意見を聞くための話し合い活動。システム化されたそれらの活動を通して、様々な学びを子供たちは得ているということです。このシステム化された学びを効率的に実施するためには、ある程度の人数、規模が必要となってくるということです。

また、一緒に学ぶ子供たちとの関係性については、1つの集団というものは、往々にしてその特性とありますが、雰囲気をもっています。学校のクラスについても、同様です。

このクラスは、こんな雰囲気をもっているな、ということを学校にいと、大変感じるところです。子供たちは、そんな学級の雰囲気、友達からの影響を多く受けながら毎日を過ごすわけです。

この集団のもつ雰囲気、長い時間同様の雰囲気の中で過ごす、その考え方や関係性が当たり前、と

なってきます。子供たちにとっては、様々な環境から自分の認知、行動を変化させていくわけですから、数多くの雰囲気の違いを経験することが、様々な視点を獲得するという点について、とても大きな役割を果たすということです。学校でいえば、クラス替えがこれに該当します。

さて、東松山市教育委員会では、以上のような理由から、児童生徒が様々な行事や体験活動を通して、集団の中で社会性や規範性を身に付けてほしいという思いを持ち、一定規模の集団が確保されていることが望ましいと考えています。

小中学校時代は、自我が形成される重要な時期であり、教育委員会としては、この時期にすべての子供たちが多様な考え方に触れ、将来社会でたくましく生きていくことができるよう、一定規模の集団を確保した教育環境を整えることが重要であると認識しています。

子供たちが健やかに育ち、そして、教育効果が上がる学校教育環境を整えていくためには、どのようにすべきかを、皆さんとともに考えていきたいと思ひます。

□意見交換（各班からの意見、3班を形成）

A班

・統合・再編となった場合に、子供たちにとっては環境が変わるため、人間関係が心配である。このため、子供たちをケアするため、プレ保育のような準備期間（音楽会を松二小と合同で行う等）があればよいと思う。

・子供たちの学習環境を考えた場合には、人数が多い（一定規模）にこしたことはないと思う。人数がある程度いないと部活・クラブ活動もできない。

・ある程度的人数がいることで、クラス替えの良さも味わえるし、人数がいることで、子供たちの得意なこと、苦手なことについて互いに助け合うことができると考える。

・人数が少ないと、下校する時に少数となる。心配で、見守り等家族の負担も増える。

・適正規模の必要性は理屈では分かるが、環境が変わることで、子供たちのメンタルが心配である。

・統合・再編の場合、教育委員会はスクールバスを前提に検討するとのことなので、それ以外の子供たちのメンタルが心配である。

B班

・大岡小学校は残していただきたいという前提で意見は下記のとおりである。

・統合・再編等の方策を実施するかどうか、現在決まっていないため、不安である。

・仮に、大岡小の統合・再編の方策実施を行うのであれば、実施年度を早めに、具体的に決めてほしい。

・統合・再編の方策実施を行うのであれば、準備等を考えると、7年前に知らせてほしい。

・統合・再編の方策実施を行う際、兄弟で異なる学校へ通うことにならないようにしてほしい。

・統合・再編の方策実施により、通学する学校が変更になった場合、通学方法や、体操着の買い替えが心配である。

・松二小と一緒にするのであれば、新たな学校名や体操着等考えていただけると、抵抗が少ないのではないかと。

・資料3で小規模校のメリット・デメリットが挙げられているが、人数が少なくてもメリットのほうが多いと考える。自身が小学校時に人数が少ない学校に通っていたため、人数が少ないことのデメリットがわからなかったという意見もあった。

C班

・資料2、推計資料において、大岡小の4人の学年について、学習環境における男女比の偏りが心配である。人数が少ないことで、友達どうしの遊びが少なくなるのではないかと心配。

・大岡小は環境が良く、魅力的な学校であるが、メリット・デメリットを比べると、デメリットの方が大きいのではないかと。

・デメリットとしては、現在の学力が低いと感じており、また刺激が少ない、人間関係が固定化してしまうと思う。仲がよく、素敵などころもあるが、切磋琢磨もしてほしいので、デメリットを感じる。

・メリットは行事等で役割を多く持つことで、子供たちにとっては責任感が持てる、学習について丁寧に見てもらえる等の意見があった。

・自宅から学校が近いことを前提に、転入してきたが、大岡小に通えなくなると、残念。

・少人数のよさは、勉強するにはよい環境にあるのではないかと。仮に違う学校へ通学することになるのであれば、通学が心配である。バスで通えるのであれば、安全面も配慮されるため、安心である。

・学習環境について、このまま少人数でいくのがベストなのか、今後、どうなっていくのか心配。

・複式学級が心配という意見については、複式学級を経験している児童の保護者から、複式学級の状況について感想を聞いてみてはどうかという意見があった。

・人数の多い学校は、性格の形成に強い影響を与えるのではないかと、また良いこと、悪いこと、嬉しいこと、悲しいこと等たくさん経験していくことが、子供の発達に良いのではないかとという意見があった。

・できれば大岡小の人数が増えたら一番良いのではないかとという意見があった。

(事務局)

意見交換のなかで、仮に統合・再編という話もできました。

例えば、通学について、統合・再編となった場合には、スクールバス導入を前提に検討することは報告会等でお伝えしています。

また、体操着についてですが、他市の事例をみると、統合・再編があった学校は、関係する保護者の方にも入っていただき、準備協議会等を編成し、検討している事例もあります。

現段階では、方策実施について、何も決まっていないため、具体的な話はできません。決まっていない状況のなかでも、具体的な話をすることで安心する方もいますが、逆に心配する方もいると思うので、ご理解いただきますようお願いいたします。

話し合いを重ねるなかで、ある程度、方向性が決まったものについては、時間に余裕をもって皆さんへお知らせすることを考えています。

各班からの色々な意見がありましたが、それについて、皆様からご意見ありましたらお願いします。

(事務局)

A班、C班からは学習環境について、ある程度の人数がいたほうがよい旨の意見がありました。それについて、B班の皆様、ご意見ありますか。

B班

・小規模校のメリット・デメリットはそれぞれあると思う。そこを言っていたらきりががないと思う。意見が割れることは仕方のないことであると思う。

(他の意見)

・学童に行かされている方が、松二の学童に通えるのか心配されていた。大岡小の学童は割と余裕がある（他の学校からも来ている人がいる）が、松二小の学童は人数が多いため、入れないのでと気にされている方がいた。

・もし、大岡小が閉校したら、後はどうなるのか？明らかになった時点で回答をしてほしい。

・少人数のメリット・デメリットの議論するのもよいが、いつまで議論するのか。方向性だけでも示しただけないと、毎年保護者は心配することになる。大岡小は少人数を特色としてこのままいくのか。統合・再編しましょうということであれば、こちらも最善を考えたいと思う。

・統合・再編の場合、スクールバス導入を前提に検討することだが、スクールバスを運営することになった場合、あと何分で到着するのか等アプリで位置情報が見られるよう検討願いたい。